

TOSHIBA

書庫に眠っている技術文書を電子化しデータ活用！
DXをAI OCRで加速！

AI OCR Synchro+

AI OCRで社会インフラDXを加速

設備点検表や品質記録など日々発生する紙文書の電子化はもちろん、書庫に眠った技術文書の電子化・活用によるノウハウ共有等へも応用可能！エンジニアのスキル・人数不足やITインフラや運用管理のコスト上昇など 社会インフラが抱える課題の解決をAI OCRから始まるDXで解決します。

AI OCR Synchro+

3つの特長

特長

1

書庫に保管したままの設計文書を電子化し、有効活用！
部品表、保守履歴など様々な帳票の読み取りがノウハウ共有を後押し
キーワード設定や全文読取など、書式に応じた読取機能でAIが賢く読み取り可能！

特長

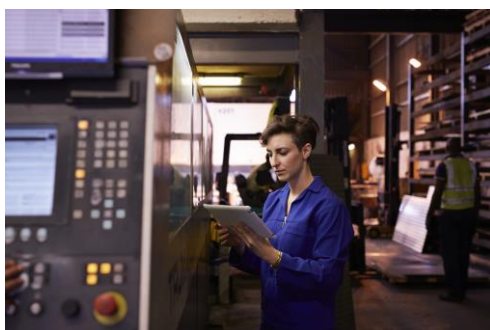
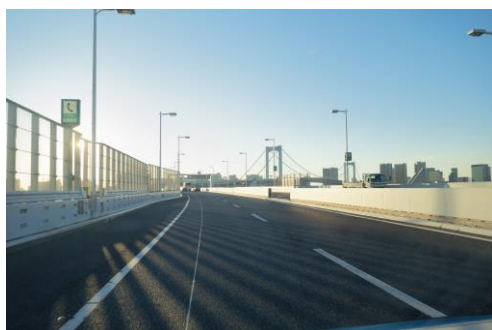
2

社内外で扱う書類・帳票（紙）授受の運用はそのままでOK。
工程表や点検記録などに記載された手書き文字列も高精度に認識
最新のAI技術を活用することで高精度に認識！

特長

3

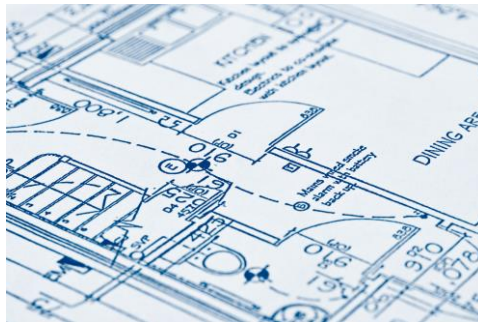
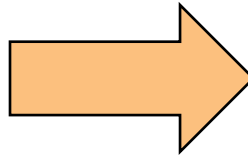
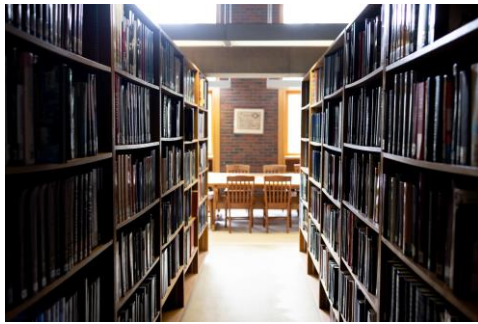
現場作業効率化！ 日々発生する点検日報、品質記録など多様な帳票
も混在状態で読取・訂正OK
帳票識別機能や文字認識後の訂正作業に必要な訂正ワークフローなど、利便性を高い機能
で作業負担を軽減！



書庫に保管し、まだ電子化されていない設計文書、トラブル対応履歴を電子化し、有効活用

日々発生する作業日報、点検記録などの日常での電子化はもちろん、書庫に眠った過去文書を読み取り、検索システム※1の構築などに応用！設計ノウハウや知見を共有可能

※1 テキスト付きPDF出力機能等を利用



AI OCR

導入効果

- 書庫保管コスト削減
- 設計ノウハウ、知見共有による開発スピードアップ
- トラブル対応や品質分析などによりサポート力アップ、新サービス検討のベース材料として活用



施設情報・工事記録・点検情報などを一元管理※2（他社サービス連携応用例）

インフラや大規模施設に関する情報を一元管理し、データドリブンなインフラ運用を実現



ノウハウを抽出し属人化解消へ

多くの書類が手書きやExcelによる管理で、データアクセスや分析が煩雑かつ属人化され、経験則にのみ基づいた運用になっている



- 構造化しデータを一元管理することで、ユーザーが直接見たい情報を見たい時に閲覧することが可能に
- ノウハウを抽出して検索でき、ナレッジの共有が可能

安全に関するご注意

- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用まえに必ず「取扱・操作に関する説明書」をよくお読みください。

株式会社東芝
ICTソリューション事業部
データ事業推進部 新規事業開発担当

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

お問い合わせの際にご提供いただくお客様の個人情報は、お問い合わせへのご回答および内容の確認のみに利用させていただきます。

当社個人情報保護方針：<https://www.global.toshiba/jp/company/digitalsolution/privacy.html>

● 資料の内容はお断りなしに変更することがありますのでご了承ください。 ● 本資料に記載しております全商品及び役務等をご購入の際は消費税が付加されますのでご承知おき願います。

● 本文章に記載されている社名および商品名はそれぞれ各社が商標または登録商標として使用している場合があります。

● 本資料に表記されている製品、数値および表現は2026年4月6日現在のものです。ホームページ https://www.global.toshiba/jp/products-solutions/ai-iot/aiocr_synchro.html